

施設の利用にあたっての注意事項

京都大学防災研究所強震応答実験室の利用に際しては、下記の注意事項を遵守してください。注意事項が守られない場合、即時の利用停止や今後の利用許可の取り消しを行うことがあります。

< 施設利用に関する注意事項 >

■利用時間

以下の施設利用時間を遵守してください。

○施設利用時間：午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで

○振動台利用時間：午前 9 時から午後 5 時まで

※休憩時間（午前 11 時 30 分から午後 2 時の間で 1 時間）を含む

利用規定第 4 条 3 項に示す利用時間の延長は、本施設設備の不備により実験進行に支障をきたした場合に限ります。利用者の実験の進捗の遅れによる時間延長は認めませんので、余裕をもった工程をご計画してください。

■原状復帰

利用後は、物品整理と清掃による原状復帰を実施してください。施設の消耗品を使用した場合は、使用分を補充してください。

■施設内禁煙

実験施設内および大学構内は禁煙です。必ず所定の喫煙スペースをご利用ください。

■ごみの廃棄

施設利用の際に生じた産廃・一般ごみについては、本施設での引き取りはできません。利用者の責任のもと廃棄ください。

■立入禁止区域

本施設に隣接する他の実験室、および大学構内の研究棟への無断の立ち入りは禁止されています。

■メディアへの掲載

実験内容を新聞、雑誌等各種メディアに掲載する場合は事前にご相談ください。なお製品プロモーションを目的とした施設利用はお受けできません。

< 実験実施における注意事項 >

■作業人員の確保

実験に際しての試験体施工、計測準備や撤去といった諸作業は、利用者の責任のもと、必要な人員を確保した上で実施してください。施設の床上操作式クレーン、フォークリフトを利用する場合は、必ず有資格者が取扱ってください。

■安全対策

作業中はヘルメット、安全靴を着用してください。高所での作業時は、必ず安全ロープ・安全帯などの転落防止策を講じてください。

■振動台への搭乗

振動台装置の稼働中は振動台テーブル上、およびテーブル周囲への立ち入りを禁止します。なお試験体の構造上、振動台稼働中に必要最小限の作業を要する場合はご相談ください。作業の効率化を目的としたご相談はお受けできません。

■施設での撮影

実験の撮影に際して、近隣実験室からの音漏れや映り込み等に関する要望はお受けできません。また機器制御室の消灯や、スタッフの作業位置の変更など機器操作に影響する要望はお受けできません。

■加振内容について

実験で使用する地震波データは利用者の責任のもとご用意ください。なお二次配布防止の観点から、実験室でのデータ保管はできません。次回利用時はデータを再度ご提出ください。また事前に加振スケジュールを提出し、当日はその内容に沿って実験を進行してください。

上記のほか、施設の利用に際しては大学スタッフの指示に従ってください。